

ちくさええとこ通信

ありがとう!!

2020.9.15 発行

No.17

45年の時を越えて愛され、
親しまれた千種市民局。
長い間お疲れ様でした。



昭和43年11月 千種町役場竣工式



(仮称) 千種市民協働センター イメージ

歴代町長



尾関 忠一氏



富田 峯次氏



秋久 竹市氏



春名 利雄氏



小原 朗氏



森脇 正算氏

おたのしみ会

ちくさ杉の子こども園

毎年子ども達が楽しみにしている夕涼み会。しかし、今年度は中止となってしまい、子ども達と一緒に
お楽しみ会を企画しました。メロン組（5歳児）も小さいお客さんが楽しくなるようなお店をみんなで考え、
手作りの金魚すくいに魚釣りをし、もっとお祭り雰囲気を出すために、オレンジ組（4歳児）は花火の壁画と、
ちょうちんの飾りを作りました。

ボーリングをして...



...お面とおやつをゲット♪



金魚すくいに、魚釣り♪



ほう、
こんなにたくさん！

くじびきで花火があたるヨ



大きいのが
当たりますように

お菓子釣り♪



花火とちょうちん、
カッコよく飾れたヨ♪
：オレンジ組



メロン組

準備オッケー！
いらっしやうい

どんなお菓子が入っているのかな

ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び
「ふるさと千種」を愛する心を育てています

千種小学校



新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月が臨時休業となり、6月より令和2年度が本格的にスタートしました。臨時休業のためにできなかった授業を少しでも回復するため、8月も登校して学習に取り組んでいます。（夏季休業 8/8～8/16）

子どもたちにとって生活環境や学習環境が大きく変化（千種っ子新しい学校生活様式）しましたが、毎日、仲良く元気に頑張っています。

☆麦わら帽子で登下校 (7/27～)

普段は、交通安全のためドライバーによく見えるように黄色い帽子をかぶって登下校しています。しかし、今年は暑い7月下旬から8月に通学するというので、熱中症対策の一環として、麦わら帽子をかぶって登下校しています。大きなつばが日陰を作り、通気性も良く、とても涼しげに見えます。また、小さな体に大きめの帽子がなんともかわいらしく感じます。この麦わら帽子をかぶって、暑い今年の夏を乗り切りたいと思います。



☆千種川 水生生物調査 (7/31)

千種高校の先生や生徒に指導してもらい、今年も3年生が千種川の水生生物を調査しました。

これは、園小中高連携教育の一環で小高の交流授業として毎年行われています。梅雨が明け、真夏の日差しが降り注ぐ中、気持ちよさそうに川に入り、網を使って一生懸命に虫をすくっていました。採集後は、理科室で顕微鏡を使い、どんな生物が生息しているのかを確認しました。今後も美しい千種川であってほしいと思います。



わ
れ
ら
ち
く
さ
っ
子



2学期が始まりました

千種中学校

新型コロナウイルスの影響で、今年度の夏休みは9日間という今までにない短い夏休みでした。不要不急の外出を自粛するなかで、子どもたちも川へ遊びに行ったり、家族でご飯を作って食べたりと、各々楽しく過ごせたようです。

今年度の2学期は例年にはない長さになりますが、初めての学校行事も予定されています。コロナウイルスに負けず、部活動も勉強も元気に頑張してほしいと思います。



今年度の穴粟市総合体育大会は、新型コロナウイルス感染防止の関係で西播大会には繋がらない、市大会止まりという異例の大会になりました。

学校では壮行会を行い各部の大会にかける思いを聞きました。3年生にとっては、最後の市大会となりましたが各部ともに精一杯のプレーを見せてくれました。これからは受験に向けて一生懸命取り組んでほしいと思います!

8月17日、9日間の夏休みを終えて、2学期始業式が行われました。非常に暑い中での登校となりましたが、生徒たちの元気な顔を見ることができました。

まだまだ油断できない状況ではありますが、体調管理やウイルス対策を万全にして、2学期を乗り越えましょう! 体育祭での生徒の活躍が楽しみです。



千種高校

感動の手づくり演奏会【カルチャー部】

7月28日(火)放課後、カルチャー部による校内演奏会が本校体育館で行われました。カルチャー部は、今年度コロナの影響から発表する機会が全くないまま今日までできました。それでも「なんとか3年生に区切りとなる舞台を作りたい」という部員たちの強い思いから、「手づくり演奏会」が実現したのです。

当日は予想以上に多くの生徒・職員が体育館に集まり、演奏会を盛り上げてくれました。また、演奏会終了後には、3年生部員に対し後輩部員から花束と教職員から寄せ書き色紙のサプライズが…カルチャー部3年生の保護者も見守るなか、最後は感動の幕切れとなりました。

カルチャー部員の熱い思いが、多くの人々の心を動かし、小規模ですが人の温もりを感じる素晴らしい演奏会となりました。カルチャー部のみなさん、お疲れさまでした。素晴らしい演奏をありがとうございました!



わ
れ
ら
ち
く
さ
え
と
こ
子

農産物直売所オープン!!

☆旧Aコープちくさ店 店頭

☆毎週 月・水・金（祝祭日はお休み）

☆午前10時～午後1時



とにかく、始めてみました。

Aコープちくさ店が閉店して、1年4ヶ月。

多くの方から、「不便になった、地元の野菜を買えるところがない。地元で出荷できない」等々の声を聞きました。

JAにおかれても、店の別の形での再開に向けてご尽力されているのですが、それまでの間、とりあえず、始めてみることにしました。

生産者も多くの方が高齢になり満足にモノが揃うだろうか？ また、買いに来てくれる人がどれだけいるだろうか、等々、不安なことは多々ありますが頑張ってみます。

一人でも多くの方に買いに来ていただき、また、出荷していただくことを願ってやみません。



千種町農産物生産加工組合（旧・野菜生産組合）

岩野辺盆踊り太鼓衆 『岩鼓』

ガンコ



コロナ禍で様々な行事・イベントが中止とされ、子供達の生活も例年と違い、夏休みの楽しみや経験したい事が制限される中で、何か出来る事はないかと有志で集まりました。

意見を出し合った結果、自分達が子どもの頃、盆踊りの太鼓の音が夏の思い出として、強く刻まれている、子ども達にも、この思いを伝えよう！また、こんな時だからこそお盆の風情を太鼓の音で雰囲気だけでも感じてもらいたい！

という事で、8月14日、3密を避ける対策を講じながら、盆踊りの太鼓を岩野辺地区4ヶ所で響かせました。

何でも中止にするのは簡単ですが、今だからこそ意見を出し合い、今出来なくても今後にもその意見が繋がり、工夫すれば何でも出来る！という思いが、この盆踊り太鼓で少しでも伝われば嬉しいです。

おばあさんが「これは供養やからな、せいでして踊らな」と上着を脱ぎすてながら踊られていた姿に田舎のあるべき姿を学ばせていただきました。これを我が子にも伝えていきたいという思いを持ったオッサン達が盆踊りを繋げて行く事の大切さを痛感した一日でした。

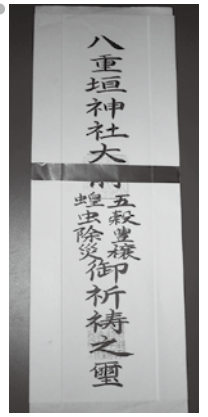
あとは、やっぱり自分達が楽しめたかったというのが一番ですね～、それが岩鼓（がんこ）です！笑

足を運んでくださった地域の皆様、そして暖かい言葉をかけてくださった皆様、本当にありがとうございました！



「虫送り」と「立毛の願入れ」 各自治会

「蝗」、この漢字、何と読むかご存じでしょうか？「イナゴ」です。昔は田んぼにたくさん居た昆虫です。油で揚げたり、佃煮にしたりして食べたりもした記憶があります。各自治会の多くのお宮では、6月、7月に「夏祭」の「虫送り」神事が行われます。この時期、お百姓さんにとって気がかりなことはたくさんありますが、その一つが虫害です。わざわざ、虫送りのためだけに祭をするくらいですから、蝗による被害は甚大だったのでしょうか。今の鹿や猪による獣害に匹敵したのかも知れません。虫送りに鐘や太鼓を打ち鳴らしたり、大声で呪文を唱えながら田んぼの畦を歩いたりするところもあるようですが、ちくさの場合、多くの村では、ご祈祷の後、「五穀豊穰・蝗虫除災」と書かれた御札（右は下河野八重垣神社のお札）を四方（東西南北）の村境に立てます。「ここから奥へは入ってきたらアカンぞ」というわけです。自分の村のことだけをお願いする蝗除けの立て札です。何とわがまなことか！



虫除けのお札

虫送り神事と共に、「願入れ（がんいれ）」をするお宮もいくつかあります。「神様、今年もお米がたくさん穫れますように、よろしくお願ひします。もし願ひを叶えてくださったなら感謝の印として〇〇をさせていただきます。」この〇〇を願旨（がんし）と言い、例えば「幟や太鼓を新調します」とか「カラオケ大会をします」「餅まきをします」といった神様がお喜びになりそうなことをいくつか考え、それを小さな紙に書くのです。願旨が書かれた紙片は丸めて三方の上に置かれ、神主さんが神様にお伺いをたてます。「神様、この内のどれをお望みですか？」と大幣（おおぬさ）と読みます。左右左と振ってお祓いをする例の道具）を三方の上にかざすと、あたら不思議、願旨が大幣にくっついてつり上がります。つり上がった願旨が、神様のご意向だというわけです。

「そんなばかな！」とおっしゃる方もあると思いますが、ほんの100年ほど前までは、米の出来不出来は一家の命に関わる重大事でした。冷害や水害、昆虫の害などで不作の年は、年貢を払うために一家離散に追い込まれたりもしたのです。願入れには、悲しいほどに切実な人々の願ひが込められています。

ちくさの「願入れ」には、「立毛（りゅうけ）」という修飾語がつけます。「立毛の願入れ」「立毛開願」といった文字がお宮の絵馬などに書かれています。どういう意味かと伺ったら、A氏は、『立毛』は「たちげ」とも読み、『毛』は農作物を意味し、ここでは稲の苗の生育状況のこと。B氏は、『立』は『龍』の当て字だろう。龍神様は水の神様だから、豊かな水をお願いしているんじゃないかとおっしゃいました。よくわかりませんが、「立毛の願入れ！」何かその言葉の響きが神秘的じゃないですか。

稔りの秋には「願開き（がんびらき）」といって、豊作を叶えてくださった神様との約束を果たし、神様への感謝の祭をします。「願入れ」から「願開き」まで、約三ヶ月、お百姓さん達の祈りは続きます。

（春名 勉）



神主さんが大幣をくじにかざすと…

1枚の写真 ～ちくさの昭和～

右の写真は日平閑次さんに提供していただきました。何が写っているかお分かりですか。旧千種中学校校舎の全景です。普段は忘れていますが、写真を見ると各教室の配置や、自分のクラスの位置まで鮮やかに甦りますね。



体育館ではなく講堂で音楽会や弁論大会が催されました。南校舎は団塊世代の入学で増築したんでしょうね。千種南小と共用の運動場に村中の人々が集まって運動会をしました。千種に子どもが一番たくさんいた時代のことです。

皆様の家に眠っている「1枚の写真」を編集部（ええとこセンター）にお届けください。

このコーナーに掲載させていただきます。



ペンリレー 第6回

小松 伸さん 

今回は、消防や妙見祭りやろう会などで御活躍の小松さんにインタビューさせていただきました。

Q 仕事はなんでしょう？

父の仕事をついで内装業をしています。高校を出てから24～25年です。

Q 普段は何をされてます？

今はコロナでどこにも行けず、家にいることが多いかなあ。

Q 趣味は？

子どもと遊ぶこと。子どもが小さい時はよく遊びました。でも、今は大きくなったから遊んでくれない。大きくなってもしょしょに行けるキャンプを始めたいと思ってます。

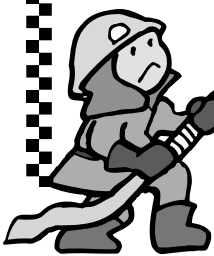
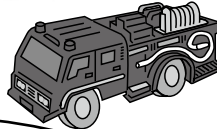
Q 千種町への思いは？

いろんな人がつながることができればいい町になるなあと思います。時間のある人、おカネのある人、アイデアのある人、いろんな人がいるので、世代を超えて、それをうまくつなぐようなところがあればいいのになあと思います。

.....
 どうもお忙しい中、ありがとうございました。山があり川があり静かな千種が好きで、町外に出たいと思ったことがないと。当たり前なのですが、そんなところに住み続けることができています小松さん、幸せだなあと思いました。また、いろいろと活躍してくださいね。



栄栗市消防団 千種支団 河内部 の紹介



河内部は団員12名で、月2回夜に集まって機械点検をしています。只今から自治会内を防火公報に出発します!!



市民局よりお願い

残暑厳しい折、みなさまいかがお過ごしでしょうか？

今年は、新型コロナウイルス感染症により今までの日常生活が奪われ、これからはコロナウイルスとの共存を意識した「新たな生活様式」による生活習慣を確立させていくことを余儀なくされています。

改めて、市民の皆様には、「3密（密閉・密集・密接）」の回避をしていただき、マスクの着用、咳エチケットの徹底や手洗い、手指消毒などの励行をお願いいたします。

今、宍粟市では合併前の町域を市民生活の生活圏と捉え、圏域内での暮らしの利便性や賑わいを維持し、活力ある地域づくりを実現する取り組みを進めています。

千種町域におきましても、令和4年3月を完成予定として生活圏の拠点施設である（仮称）千種市民協働センターの施設整備がはじまります。



このことに伴い、去る7月27日より千種市民局の仮庁舎はセンターちくさ3階に移転しました。皆様には（仮称）千種市民協働センター完成までの間、いろいろとご迷惑やご不便をおかけすることと思っておりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

今後は、町民の皆様にとって利活用がしやすい施設となるよう、（仮称）千種市民協働センターの運営のあり方や生活圏における賑わいの確保・創出などその具体の取り組みについて皆様のご意見をいただきながら検討していきたいと考えておりますので、重ねてご協力いただきますようお願いいたします。

千種市民局長 福山 敏彦



「みんなで作る」 千種のまちづくりをめざして

千種まちづくり推進委員会

前回は「生まれ変わる『まち推』」として今後のまち推の取組について以下の4点をお知らせしました。

- ・年代、性別を問わずみんなが参加しやすいまちづくりの仕組みに変えていく
- ・千種の皆さんの思いを大切にしながら一緒に進めていく
- ・各種団体も含めた千種町全体をつなぐ様な組織をつくっていく
- ・本年度1年間を掛けて組織の見直しをしていく

その第一歩として千種の皆さんの思いをしっかりと受け止めるためのまちづくりのアンケート（意識調査）を実施します。そしてこのアンケートの取組から皆さんと一緒にまちづくりを進めていこうとアンケート企画委員さんを募集したところ、千種高校生から70代までの年齢層から7名の参加申込みがありました。関係者一同大変嬉しく、参加される皆さんそれぞれの思いを大切にしながらアンケートへの取組を進めていきたいと思っています。

先ずは9月の初めに第1回の企画委員会をもち、順次アンケート実施から集約・結果まで取り組んでいきます。アンケートでは「こんなまちにしたい」という思いをたっぴりとお聞かせください。千種にはまだまだ元気があります。暮らしていくための素晴らしい環境があります。皆さんと一緒に「住み甲斐のあるまち」「暮らし甲斐のあるまち」を創っていきましょう。



千種高校

史上最高の夏

【硬式野球部】



令和2年度夏季兵庫県高等学校野球大会（代替大会）が7月18日から行われ、千種高校硬式野球部が3回戦まで進出しました。1、2回戦は接戦で苦しいゲーム展開でしたが、幾多のピンチを持ち前のチームワークと粘り強さで乗り越え勝利しました。目標としていた県ベスト8には届きませんでしたが、小さな学校が大規模校と互角に渡り合い、勝利していく姿に多くの勇気と感動を与えられました。地域の期待を背に熱い夏を戦い抜いた選手たちに大きな拍手をおくります。



♥ こんにちは 赤ちゃん ♥

赤ちゃん写真大募集！
新しい可愛い家族を紹介してください。



千草
かなもと さら
金本 彩来ちゃん

父 智始さん
母 真美さん



【メッセージ】 元気に生まれてきてくれてありがとう！
いつもニコニコ笑顔でよくしゃべる彩来ちゃん♡ 優しい子に育ってね！



岩野辺
きたはら えま
北原 依菜ちゃん

父 知典さん
母 若菜さん



【メッセージ】 生まれてきてくれてありがとう。
元気いっぱい！笑顔いっぱい！
大きくなってね♡



岩野辺
とくひささか じん かん
徳久阪 仁ちゃん 幹ちゃん
(写真左) (写真右)

父 朗さん
母 麻衣さん

【メッセージ】 元気いっぱい生まれてきてくれた双子くんたち。
仁と幹、それぞれの個性を大事に育ってね！

